



ゆづりは

堺市立図書館だより

第3巻 第3号 (通巻9号)
 発行日 平成20年12月10日
 編集・発行 堺市立中央図書館
 〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1

電話 072(244)3811
 Fax 072(244)3321
 URL <http://www.lib-sakai.jp/>

堺っ子読書フォーラム実施

今年度は、堺市が平成16年3月に5か年計画で策定した「堺市子ども読書活動推進計画」の最終年にあたります。そこで事業の集大成として、12月6日に堺っ子読書フォーラム「本は一生のともだち～ひらいてひろがる本の世界～」をソフィア・堺にて開催しました。当日は寒さにも関わらず、たくさんのお子様たち、子どもの読書に関心のある大人の方々が来場してくださいました。



開会式に引き続き、子ども読書活動推進計画にご協力いただいたボランティア団体の方々に教育委員会から感謝状をお贈りさせていただきました。



堺市在住の絵本作家、さいとうしのぶさんの指導による絵本づくりのワークショップや、ギャラリーでの職員やボランティアによる工作コーナーでは、子どもたちが出来上がった作品を手に満足げでした。



基調講演では、神戸常盤大学准教授の小崎恭弘氏が「子どもとかわるたくさんの方の方法～パパの絵本大作戦」としてご自身の子育て経験も交えつつユーモラスにお話をされました。

その他、ボランティアの皆さんがおはなしや読み聞かせ、人形劇などの実演をされたコーナーでは、子どもたちが時間を忘れて楽しんでいました。

本市が取り組んでいる子ども読書活動推進計画については、HPからもご覧いただけます。
http://www.lib-sakai.jp/kodomodokusyo/kodomo_dokusyo.htm

目次

堺っ子読書フォーラム実施 …1

堺の住吉-「難波屋の松」 …2

資料(点検)整理期間のおしらせ …2

わたしの”とっておきの一冊” …2

堺かるた-いろはの「ほ」 …3

こんな調べものがありました
 しファレンス事例集のご案内 …3

この本で解決～甘いもの大好き～ …3

司書のイチ押し！
 -『ニューヨークの魔法使い』 …4

堺市立図書館電話番号一覧 …4

ゆづりは

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人、河井醉茗氏の歌碑があります。

「年ごとにゆづりゆづりて
 譲り葉の ゆづりしあとにまた新しく」

この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だよりに「ゆづりは」と名づけました。

(河井醉茗氏については、「ゆづりは」通巻第1号にご紹介しています。)



堺の住吉―「難波屋の松」



『泉州堺なにわの松』
(中央図書館蔵)

住吉大社は、江戸時代の大和川付け替え以前は堺と地続きであったため、「堺の住吉」として、堺の人々の信仰を集めてきました。海を守る神とされ、境内には堺の漁業者や商人の名が刻まれた灯籠が現在も多数残っています。

この絵は、『諸国名所百景』のうち、堺から住吉大社に参詣する途中の紀州街道脇にあった茶店、難波屋の庭にあった大きな松と見物客の様子を描いたものです。この場所は現在の大阪市にあたりますが、題は「泉州堺なにわの松」とつけられています。

当時すでに大和川で隔てられてはいましたが、住吉大社とそこに通じる道が、堺の町と一体のものと意識されていたことをうかがわせる資料です。

資料（点検）整理期間のおしらせ

資料の点検・整理作業を実施するため、以下の期間中、各図書館が休館します。

この期間、図書館では「蔵書点検」を行っています。蔵書点検とは、お店でいうと「棚卸し（たなおろし）」作業にあたります。検索をしたときに表示されている場所に、資料が実際に並んでいるかどうかを確認するために、館内にある資料を一冊一冊点検していく作業です。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

今年度の各館の資料（点検）整理期間の予定

平成21年	人権ふれあいセンター図書ホール	1月	21～23日
	榎分館	1月	28～30日
	美木多分館	1月	28～30日
	北図書館	2月	2～6日
	美原図書館	2月	16～23日

わたしの“とっておきの一冊”～その8

今回は中学生特集です。女性にはケータイ小説がよく読まれているようですが、他にもコミック、教科書で読んだ作品なども含めさまざまなジャンルから、印象に残ったものを紹介していただきました。

◆『キノの旅』時雨沢恵一

12歳で自分の村を出て、あちこちで旅をしながら大切なものを探すという不思議な物語で、オートバイがしゃべったりして、なんか不思議な人物や物ばかりでてきてとても不思議＆おもしろい話がいっぱいつまってる本で好きです。ぜひ一回読んでみてください。（女性）

◆『恋空』美嘉

とても感動して泣けるいい小説でした。（女性）

◆『ゼブラ』ハイム・ポトク

講師が出てきて、しまうまの絵を描いてくれた場面が良かったです。講師の人が傘などのゴミを集めてきて、作品を作るところも良かったです。とてもおもしろかったです。（男性）

◆『ゼブラ』ハイム・ポトク

けがをしてしまった少年が、ウィルスンとの出会いで今までと違う考え方で人生を生きていこうとする場面がとても心に残りました。それにゼブラは少し明るい性格になったと思うので、私もウィルスンのような人に会ってみたいと思いました。（女性）

◆『ハリー・ポッターと死の秘宝』J. K. ローリング

主人公のハリーは今までに家族といえる人を4人もなくしているにもかかわらずまだたくさんの人を失ってしまっても悲しくて、なのにハリーは予言で残された相手を倒しにいきとても勇敢だと思いました。私だったら絶対出来そうにないことをハリーはやってすごいいい心に残りました。（女性）

◆『ブレイブ・ストーリー』宮部みゆき

主人公が幻界に行って旅をしているいろいろな仲間と戦っているシーンが心に残った。（男性）

◆『ホームレス中学生』田村裕

主人公ははじめに家がなくなって公園にすむけど途中で友達に会って家でご飯を食べさせてもらってそのうえ新しい家が見つかるまで家に泊めてくれてすごく優しい家族だと思った。家が見つかって主人公は兄と姉の三人でくらすことになって、ご飯などをよく噛んで食べたりとかしたりしてすごく節約していたりしてすごいいいと思った。兄弟はすごく団結力もありました。この本はお金がなくても幸せになれるということを教えてくれました。（男性）

◆『枕草子』清少納言

教科書で読んだんですけど、自分のクラスのみんなで枕草子を読んで文が長かったし、たいへんだったけど読んでいたら楽しくてこの文章をがんばって覚えようかなと思いました。（男性）

◆『魔術はささやく』宮部みゆき

ミステリーなんですけど、読めば読むほど謎はとけていくんですけど、よけいこんがらがってわからなくなってきました。でも、そんなところが読んで楽しかったです。実際にこんなことがおこったりすると思うと、ちょっとゾッとしました。（女性）

◆『夢をかなえるソウ』水野敬也

適当なことを言っても実はとても大切な事を言っていた。神様が関西弁のところもおもしろかった。（男性）

◆『ワンピース』尾田栄一郎

ルフィーはとても仲間思いで闘いでも、とても強い。あとバギーがバラバラの実を食べているから胴体がバラバラになって攻撃をかわすのが印象的。ルフィーは仲間がポロポロにされたら仲間の分までかたきをとるのが心に残った。（男性）

堺かるた-いろはの「ほ」

「方よけで 名高い神さん 方ちがい」



方^{ほう}よけで
名^な高^{たか}い神^{かみ}さん
方^{ほう}ちがい

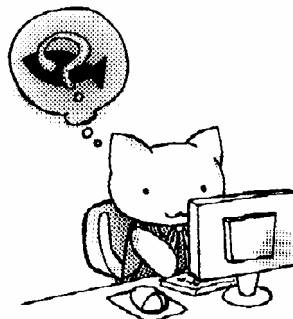
方違神社は、その位置、三国ヶ丘（摂津・河内・和泉の境）や昔の風習から「かたたがえ」神社と呼ばれることがありますが、正しくは「ほうちがい」神社と称します。転宅、転勤、海外旅行などに際し、現在も多くの人が参拝に訪れています。

こんな調べものがありました
レファレンス事例集のご案内

下のコーナー、「この本で解決！」で紹介していますように、図書館にはさまざまな質問が寄せられます。寄せられた質問の一部は図書館ホームページに「堺とその周辺について」や、

「身近なくらしから」などのジャンルごとに掲載しています。

調べものをされる際の参考に、また、読み物としても楽しんでいただけたらと思いますので、ぜひご覧ください。



<http://www.lib-sakai.jp/link/jireisyu.htm>

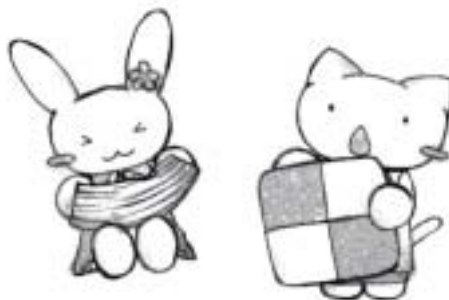
この本で解決！ ～甘いもの大好き～

近年よく聞かれるようになった言葉に「スイーツ」があります。洋菓子にかぎらず和風のもの、フルーツ系などさまざまなものがそう呼ばれていますね。食べに行ったり、名品のお取り寄せをするのも楽しみですが、作るという楽しみもあります。ここでは図書館に寄せられた中から、「甘いものの作り方」についての質問を選んでみました。

Q 「落雁（らくがん）」の作り方を知りたい。
『お砂糖レッスン』（地球丸）、『あこがれの和菓子をつくる』（NHK出版）、『御前菓子をつくろう』（ニュートンプレス）に載っています。落雁は砂糖と粉を混ぜてつくる伝統的な和菓子で、西鶴や近松の作品にもしばしば名が見られるとのこと。江戸時代の製法については、落雁によく似た菓子である「白雪餅（こう）」とともに『近世菓子製法書集成 1・2』（平凡社）で確認することができます。

Q 砂糖、卵、牛乳を使わないお菓子のレシピを探している。
『卵・牛乳・大豆・小麦を使わないアトピックのお料理ブック』（女子栄養大学出版部）、『卵・バター・牛乳・砂糖なしだから美味しい！華やかケーキと素朴お菓子』（河出書房新社）などに載っています。近年、卵・牛乳・小麦粉などアレルギーの原因となる食物を含まないレシピが多く出版されています。図書館でも、最近では米粉を使ったレシピの載っている資料なども所蔵しています。

Q バウムクーヘンをアウトドアで焚き火を使って作りたい。
『窯焼きピザは薪をくべて』（創森社）に焚き火を使ったバウムクーヘン作りがイラスト入りで20ページほど紹介されています。この本の手順どおりに作ると、「直径15cm、長さ40cm」のバウムクーヘンが出来上がります。



Q 家にキンカンの木があるので実の料理法が知りたい。
キンカンの実の料理法は、主に①甘露煮、②煎じ汁、の2つがあります。①は『くだもの本』（グラフィック社）、『医者がすすめる手づくりの家庭秘薬』（主婦と生活社）に、②は『図解自家製薬事典』（ハート出版）、『わが家でできる自然の特効薬229』（青春出版社）に作り方が載っています。キンカンの煎じ汁はすぐに作ることができるので、これからの風邪をひきやすい季節に試してみたいですね。

Q 簡単に自宅で作れる甘酒のレシピが知りたい。
一般書では『麹室からのごちそう』（海鳥社）、『わが家で作るこだわり麹』（農文協）に甘酒のレシピが載っています。児童書でも『料理とワラ加工（写真でわかるぼくらのイネづくり4）』（農文協）、『おやおや色・味・香りのふしぎ（絵本おもしろふしぎ食べもの加工3）』（農文協）に作り方が載っており、しかも手順が写真つきで紹介されているので、一般書よりわかりやすい内容となっています。

司書のイチ押し!

『ニューヨークの魔法使い』シャナ・スウェンドソン/著 東京創元社

相変わらずハリー・ポッター人気は続いていて、児童書ではファンタジーが続々と翻訳されている。大体が分厚くて読みがいのありそうな本で、大人が読んでも十分面白い。あまりにも分厚い本が多いので、本になじみのない子ども達から敬遠されてはいないか、と少し心配でもあるのだが…。

今回のお勧めは「大人が読んで面白く、しかも、ファンタジーらしくない設定で実はファンタジーの要素を満たしている」というお話。

タイトルどおり舞台は現代のアメリカ、ニューヨーク。主人公は南部テキサス出身、26歳のOLで、同じ田舎から上京した友人達とアパートをシェアしている。職場ではイヤな上司に振り回され、転職したくてもアテはなし、辞表をたたきつける金銭的な余裕もない。アフターファイブでは、友人にブラインド・デートを設定してもらったり、デートに着て行くドレスを選んでもらったりと、ごくごく普通の主人公で「ワーキング・ガール」のような映画やドラマに出てきそうな設定である。

ここまでは、およそファンタジーらしくない。実はこの主人公には悩みがあって、そこから話は段々とファンタジーの色合いを帯びてくる。

悩みというのは、テキサスの田舎出身というコンプレックスから「背中に羽をつけている人」や「とてもニセモノに見えない被り物の人」を地下鉄や街角で頻繁に目撃しても、口に出せないでいること。どんなに相手が奇妙でも、ここで自分だけが立ち止まって唖然と見つめたりしたら田舎モノ。「さすがニューヨーク、本物みたいなコスプレね」とあえて見ないふりをして無理やり頭から追い出し、他人には目もくれず足早に歩くニューヨーカーを気取っていたのだった。

しかしある日、自分が見ているものと、友人達が見ているものとが違うことに気づく。他の人が目もくれないのは、自分に見えているこの妙ちきりんな人たちが他の人には見えていないから。これが、真実だった。この世界には古き時代から魔法も、魔法使いも、妖精も存在していた。けれど普通の人々は魔法の目くらましが効いていて、そんなものは見えて

いない。一見平凡な主人公には、「魔法にかからない」という珍しい能力があったのだ。

彼女が自分の能力を知った後も、その事の一部の人達しか知らないの、彼女の前に現れる魔法使いや妖精達は魔法の目くらましがすっかりばれていると気づかない。彼女の独壇場のようなものだ。一方、友人達には魔法は秘密なので、見えない振りを押し通すことになる。アルものをナイとし、蛙を人と言いくるめなければならないなどなど。ここが実に面白い。

第一話では、魔法が通じない人間がごく僅かながら存在すると知っていた魔法使い達が、主人公がその特殊な能力を持っていると知って接触してくる。そしていよいよ、彼女は現代の魔法世界の争いに巻き込まれてゆく。

このお話の中によく出てくる「南部の淑女（サザンベル）」という言葉。日本ではあまり一般的ではなく少し分かりにくい言葉だが、このサザンベルのニュアンスの分かる方は、このお話をより楽しめるはず。もちろん、ファンタジー好きの方にもおすすめです。ぜひ、ご一読を。(S)

「(株)魔法製作所シリーズ」として、続刊『赤い靴の誘惑』『おせっかいなゴッドマザー』も出ています。

堺市立図書館電話番号一覧

音声応答サービス	280-0415
中央図書館	244-3811
くすのき号	244-3811
堺市駅前分館	222-0140
中図書館	270-8140
東百舌鳥分館	234-9600
東図書館	235-1345
初芝分館	286-0071
西図書館	271-2032
南図書館	294-0123
梅分館	296-0025
美木多分館	296-2111
北図書館	258-6850
美原図書館	369-1166
人権ふれあいセンター図書ホール	245-2534
青少年センター図書室	228-6331

行政資料番号 1-K3-08-0066